

平成29年度高知母性衛生学会 総会・学術集会

開催日：平成30年3月18日（日）9：30～12：00
場所：高知医療センター くろしおホール

妊産褥婦の高齢化に焦点を当てて

全出生数のうち35歳以上の女性の出産が29.6%を占め（2016年）、生児の20人に一人がARTによって産まれる時代となってきている。この数十年で周産期における「産み・育てる」対象者は高齢化し、医療者のみでなく地域・福祉が一体となって変化する対象者の特性に応じたケア提供が必要となっている。近年の、妊産褥婦の変化を知りどのようなケアが必要かその対策を探っていく。

プログラム

9：30 学会長挨拶

総会

議事進行：高知母性衛生学会 会長 林 和俊

10：00～10：20

学会長講演「妊産婦の高齢化の現状」

高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター

総合周産期母子医療センター長 林 和俊 先生

10：30～11：30

特別講演「高齢妊産褥婦の特性に応じたケア」

千葉大学大学院看護学研究科

看護学部教授 森 恵美 先生

11：30～12：00

事例を通して関わり方を検討する

事例提供者

高知赤十字病院 産科病棟師長 眞鍋 敦子 様



森 恵美先生

不妊看護に関する研究や子育て支援に関する研究等されるなか、高年初産婦の出産後からの健康問題と支援ニーズを調査研究し、子育て支援のためのケアガイドライン「日本の高年初産婦に特化した子育て支援ガイドライン」の開発をされています。

*参加費1,000円 学生 500円

